

栃事研会報

第74号

栃木県公立小中学校事務職員研究協議会

編集発行人 大橋 利昭

主な内容

会長あいさつ 他	1
新旧副会長あいさつ他	2
専門部紹介	3
事務局紹介・栃事研からのお知らせ	4
HP アドレス	http://tochijiken.org/



会長あいさつ

栃事研会長 大橋 利昭

昨年度も「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」を研究主題とし各種事業を推進してまいりましたが、会員の皆様方のご協力により、一定の成果をあげることができたものと思っております。

さて、昨年度は「省令事務長」、それを受けた「県教委の通知」、「兼務に関する実施要項の改正」と、事務職員に関する通知が相次いでだされた一年でした。

このことは、共同実施の側面からとらえると、その環境が整いつつあるといった感があります。

そこで、この共同実施をさらに推し進めていくには、事務長のリーダーシップのもと、学校間連携、地域連携と広がっていくことが必要であり、それにより、広く社会に、事務職員の職務内容や担っている役割を示し、事務職員の重要性について理解を深めていけるのではないのでしょうか。

また、共同実施の主体は各学校、各地域であり、その市町であり、積極的な取り組みをお願いしたいと思います。

本年度も栃事研では共同実施の全県的な取り組みを最重要課題として取り組んでいき、市町、支部とのますますの連携強化を図り、各種事業をとおして「子どもたちの豊かな育ちを支援」していけるよう積極的に活動を展開してまいりますので、会員の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

平成22年度 研修会並びに総会

平成22年5月28日（金）宇都宮市文化会館小ホールにて、平成22年度の栃事研研修会並びに総会が開催されました。

開会式には栃木県教育委員会をはじめたくさんのご来賓の皆様のお出席を賜り、いよいよ本年度の栃事研活動がスタートを切りました。

続いての総会においては、提出された議案が審議され滞りなくすべて承認されました。また、新役員並びに各専門部長の紹介、退職事務長への感謝状贈呈、平成23年度関係プロ栃木大会実行委員会進捗状況報告が行われました。

研修会では、宇都宮大学教育学部教授 藤井佐知子先生を講師にお迎えし、「学校経営参画の視点－知識経営論（ナレッジマネジメント）を手がかりに－」と題してご講演いただきました。

講話の中で、民間でも活用されているバランス・スコアカードや戦略マップを使い、ナレッジマネジメントをまとめ上げていく作業を通して、学校経営に参画していくことが重要であると述べられました。



副会長あいさつ

気持ちも新たに 高橋純子

過日の総会において副会長に選出いただきました。微力ながら精一杯努めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

栃事研は、「豊かな子どもの育ちを支援する」ために共同実施の全県実施を最重要課題として取り組んでいます。県教委主催の学校事務にかかる検討会、事務職員にとって指針となる「とちぎチャレンジプラン」の策定、新採・臨採の若い事務職員の増加による世代交代、関ブロ栃木大会の主管等課題は山積しています。私たちは、この変革の時代の中で何ができるのかを模索し、この期をチャンスとして、チェンジし、チャレンジしなければ学校事務の明日は拓けないと思います。

これまでの事務局長としての経験を生かし、新たな気持ちで栃事研に臨み、会員の皆様と共に前進してまいりたいと思っていますので、ご指導ご協力をお願いいたします。

退任にあたって 篠原 実

この度、副会長を退任することになりました。

私は、25年を超える長い間、研修部員、副部長、研修部長、そして副会長として栃事研活動に参加させていただきました。この間いろいろな事がありましたが、会員の皆様を始め、理事、執行部、事務局、専門部員の方々の御支援御協力により与えられた役割を發揮することができたものと考えております。

私は、栃事研で学び、栃事研で教えられ、栃事研で成長し、そして栃事研があったからこそ一人前になれたものと感謝しております。

これからは、一会員として、これまでの経験を自校、地域、市の学校事務振興のために役立てていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。栃事研のこれからの益々の発展を祈念いたしまして、退任のあいさつといたします。



関ブロ（栃木大会）に皆様のお力を！！

関ブロ（栃木大会）実行委員長 樋口 良広

関ブロ（栃木大会）実行委員会も発足から半年が経とうとしています。その間、運営委員会と企画委員会を数回、開催させていただくとともに分科会提案を予定しています。東京小支部、千葉支部、栃事研研究部そして、上都賀支部の担当者の皆さんの意向を確認しながら、何とか開催会場が確定をいたしました。

第1日目の1月26日（木）は、宇都宮市文化会館大ホールを会場に全体会が行われ、第2日目の1月27日（金）は、宇都宮市文化会館大ホール・小ホール及びコンサーレ、護国会館の4会場に分かれて分科会が開催されることとなります。他県と違い4つの分科会が同時開催できるような大きなイベント会場の無い栃木においてはアクセス面から考えてもベストな選択かと思えます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

今後、大会テーマやサブテーマの決定、記念講演の講師の人選等やらなければならない課題が山積しておりますが、各部、各係を中心に一歩ずつ準備を進めていきたいと思えます。各支部の皆様方の様々なアイデアを是非お寄せください。大会の企画や運営に反映し、実りある大会にしたいと考えております。

研修部

専門部紹介

研修部の活動は、☆ セミナーの企画 ☆ 研究大会の企画 などなど・・・
を中心に誠心誠意？ガンバって！います。それぞれについては・・・

★ セミナーの企画をガンバっています！

研修部は、求められている能力をUP↑できるようなステキ(?)なセミナーを企画しています。今年度も8月に開催予定！！皆様の参加を心よりお待ちしておりますm(_ _)m

★ 研究大会の企画をガンバっています！

・時代にmuchした！研究大会を企画しています。

・会員の皆様が「これは参加してみたい！」と思えるような研究大会を目指します！

研修部は、「今、事務職員に何が求められているか」について、情報をcatchし、会員の皆様にthrowしていきます！御支援、御指導のほどをよろしくお願いいたします。



研究部

今年度の研究部は、昨年度から引き続き全員が替わらない強力な8名の布陣でスタートしました！平成21年度は全国研究大会福島大会まで積み重ねてきた研究の成果や課題を確認するところから話し合いを始めて、「とちぎの子どもたちのために」という熱い気持ちをもった部員一人一人が学校事務職員として目指す姿を考えました。「より質の高い学校事務を提供して教員が子どもと向き合う時間の確保に貢献する」「子どもの学びや育ちを支援するために安心安全な環境整備や教育諸条件の整備を図る」「学校経営に参画する」それが皆で導き出した求める姿です。そして、その姿に近づくために必要なことを今年度はより深く探っていきます。

また、平成23年度の関東地区学校事務研究大会栃木大会の分科会提案に向けても「会員みんなが元気になれるような分科会にしよう！！」と思いを一つにして「チェンジ」「チャレンジ」をスローガンに研究を進めています。

今年度も岡崎副会長を担当副会長にお迎えして動き出した研究部に御指導・御協力をよろしくお願いいたします。



調査部

今年度、調査部は「学校事務研究資料'10」の発行と「栃事研50周年記念誌」発行の準備を中心に頑張ります。

例年の調査部活動の他に記念誌の準備があるため、調査部員を増員していただきました。担当副会長以下総勢14名でにぎやかに、和やかに、モチベーションをあげて、栃事研のために活動をしていこうと思います。

アンケートや各種調査などで、会員の皆様をお願いすることもたくさんあると思います。正確なデータを提供し、会員の皆様に活用していただけるよう心を込めて作成します。

また、50周年記念誌を作成するにあたっては、半世紀という歴史の重みにプレッシャーを感じています。栃事研発足当時からの残されている貴重な資料を紐解きながら、この先10年後、20年後の栃事研に「50周年」という区切りを残せるよう気を引き締めて取り掛かっていこうと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



事務局

栃事研の事務局ってどんなことをしているのかしら？
といった疑問に、今回事務局の紹介を兼ねて会報でお知らせしたいと思います。

今年度の事務局は、栃事研を知り尽くしている高橋副会長のご指導助言の下、新人の事務局長を中心に総務部・財務部・広報部の3部構成、新たに若く意欲に燃えた新人2名を迎え、総勢23名で「とちぎの学校事務」づくりに貢献出来るよう活動しております。



総務部は栃事研概要の作成をはじめ、各支部の理事の方々に参加していただく年4回の理事会や新加入会員等研修会、研究大会等の企画運営、また、関係諸団体との連絡調整などを行っています。概ね、総会や研修会の折に、会の円滑で実りある運営のために汗をかきかき走り回っているのが総務部員です。

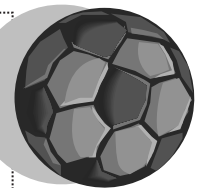
財務部は栃事研の予算をつかさどる要の仕事です。ベテランの財務部長を中心に、会員の皆さんから納入していただいた会費を、計画的でより有効な予算の執行に常日頃から尽力しております。

広報部はこの会報作成をはじめ、栃事研の広報活動の充実を図っております。特に、栃事研のHPでは、会員からの様々なニーズに応えるべく、毎日の仕事に直で役に立つ情報を掲載しております。

今年度初めには、勤務時間の変更に伴う年次休暇簿の差引計算表を掲載しましたところ、会員の皆さんから大変多くの感謝とともに、励ましをいただき、今後ますます会員の皆さんの期待に応えられるような広報活動をすることを決意したところです。ぜひ栃事研のHPをごらんになって下さい。

事務局員は各支部のご協力を得て参加して下さっている方々です。これからもとちぎの子どもたちの豊かな育ちを支援していくために、会の運営に尽力してまいりますので、会員の皆さんのご支援とご協力をよろしくお願いします。

栃事研からのお知らせ



- | | | | |
|----|--------------------|----|----------------|
| 1 | 新加入会員等研修会 | 期日 | 平成22年8月10日(火) |
| 会場 | 栃木県学校生協会館 | | |
| 2 | 栃事研セミナー | 期日 | 平成22年8月19日(木) |
| 会場 | パルティ | | |
| 3 | 共同実施校連絡協議会 | 期日 | 平成22年8月24日(火) |
| 会場 | 鹿沼市菊沢コミュニティセンター | | |
| 4 | 平成22年度学校事務研究大会 | 期日 | 平成22年11月26日(金) |
| 会場 | 足利市民プラザ | | |
| 5 | 第42回全国公立小中学校事務研究大会 | 期日 | 平成22年7月28日(水) |
| 会場 | 徳島県徳島市 | | |
| 6 | 第42回関東地区事務研究大会 | 期日 | 平成23年1月27日(木) |
| 会場 | 埼玉県さいたま市 | | |
| 7 | 全事研セミナー | 期日 | 平成23年2月27日(金) |
| 会場 | 東京都文京シビック | | |

編集後記

開幕まで全く盛り上がらなかったワールドカップ南アフリカ大会も日本がカメルーンに勝利したことにより、急激な盛り上がりになっています。4年に1度の大会は、普段見ることできないすごいプレーを随所で見るので、このところ寝不足ぎみの日が続いています。真剣なプレーの連続に日常の小さな悩みも忘れ、真剣に応援している自分に気がついた時、やっぱりスポーツってすごいなってつくづく思います。さて次のデンマーク戦。朝早いのでビールを片手にというわけにはいきませんが、選手を信じて一生懸命応援したいと思います。